

ラヴァル大学  
東アジアの文明 / 社会とアジア共同体  
期間: 2016年9月~12月

- 第1回 講座の説明役割  
(9月05日) 李晟文=Shenwen Li (ラヴァル大学教授、歴史)
- 第2回 アジア共同体の理論と展望  
(9月12日) 鄭峻坤 (ワンアジア財団首席研究員)
- 第3回 清朝時代の中国の伝統的な社会 / 政治制度  
(9月19日) Pierre-Etienne Will (コレージュ・ド・フランス教授、中国近代史)
- 第4回 儒教とアジア : 伝統と近代  
(9月26日) Ghiglione Anna (モントリオール大学教授、中国哲学と宗教)
- 第5回 中国社会における肩書 (label) と儒教儀式の影響  
(10月03日) 湯勤福=Qinfu Tang (上海師範大学教授、中国思想史)
- 第6回 国際学際的シンポジウム : 伝統、開発とアジア共同体  
(10月10日)
- 第7回 過去から現在へ : 中国と朝鮮間の文化交流  
(10月17日) 孫衛国=Weiguo Sun (南開大学教授、中朝関係史)
- 第8回 資料渉猟週 (reading week)  
(10月24日)
- 第9回 今日の日本文化 : 文学と映画  
(10月31日) Rodica-Livia Monnet (モントリオール大学教授、日本文学)
- 第10回 朝鮮の伝統的思想とアジア共同体、及び中間試験  
(11月07日) 禹景燮=Kyung-Su Woo (仁荷大学教授、朝鮮思想史)
- 第11回 東洋と西洋 : お互いについて認識と表明  
(11月14日) Paul Servais (ルーヴァンカトリック大学教授、東西文化交流)
- 第12回 中国移民と、中国—フィリピン間の文化・貿易関係  
(11月21日) Frederic Laugrand (ラヴァル大学教授、少数民族の信仰と多元文化)
- 第13回 台湾の先住民族と多文化  
(11月28日) Simon Scott (オタワ大学助教授、台湾の少数民族)
- 第14回 アジア諸社会の政治制度 : アジアの経済協力と地域の安全保障問題  
(12月05日) Gerard Hervouet (ラヴァル大学教授、アジア政治と国際関係)

第15回 近代以前と近代の日本と西欧との関係  
(12月12日) Reinier Hesselink (北アイオワ大学教授、日本の歴史と文化)

第16回 やがて世界は一つになる：最終試験と論文提出  
(12月19日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団理事長)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。